

学外者の三輪キャンパス施設利用における 新型コロナウイルス感染症ガイドライン

令和4年9月20日

令和5年1月24日

総務・経営企画課

1. 目的

学外者の三輪キャンパス施設利用における新型コロナウイルス感染症ガイドライン（以下、「本ガイドライン」という。）は、「公立大学法人長野県立大学固定資産貸付要綱」（以下、「貸付要綱」という。）を基本としつつ、新型コロナウイルス感染症が拡大・継続する中で、学外者が三輪キャンパス施設を利用することによる新型コロナウイルス感染症の学内への感染拡大を防止するとともに、公正な施設貸付の実現を図ることを目的とする。

なお、本ガイドライン中に示した事例は、典型的な事例を示すことで本ガイドラインの理解を助けることを目的とするもので、すべての事案を網羅するものではない。

2. 定義

用語	定義
学外者	本学教職員及び学生以外の者
本学教職員	公立大学法人長野県立大学の役員、教員、職員。ただし、非常勤講師を除く。
学生	長野県立大学在学学生及び長野県立大学大学院在学学生
県の感染警戒レベル	長野県が定める、長野圏域の感染警戒レベル

3. 本ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインは、本学の感染レベルが1から3であり、かつ以下の場合に適用する。なお、感染レベルが4になった場合は、以下に該当する場合であっても貸付は行わないこととし、感染レベルが0になった場合は、以下の場合に関わらず通常通り貸付を行うこととする。

(1) 以下のすべてに該当する場合

- ① 利用目的が、学外者が主催する会議又はイベントもしくはそれらに準ずるものである
- ② 利用目的とする会議等の趣旨が、教育研究の充実・発展に寄与するもの又は本学の知名度・ブランド力を高めることに資するものである
- ③ 利用目的に、本学教職員又は学生が関与するものである

例1) 本学教員が所属する学会が主催し、当該教員が大学側との窓口となり開催準備等に関わる学術大会の開催

例2) 公共団体が主催し、教員及び学生が正課活動の一環としてイベントの一部を担う

例3) 本学のPR効果が高い報道機関の収録等で、教職員又は学生が出演する

(2) 本学教職員並びに在学生の福利厚生のために設置された団体が、本学が開催する行事に係りして在学生の福利厚生のために開催するイベント又はこれに準ずるものである場合

例4) 大学生協による卒業式に向けた衣装レンタル予約会

4. 施設利用に係る手続き

施設利用に係る手続きは貸付要綱によることとし、これに加え、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 感染拡大防止対策計画書（様式1）
- (2) 感染防止対策チェックリスト（様式2）

5. 感染拡大防止対策計画書に記載すべき内容

(1) 感染拡大防止対策計画書には、次の項目を記載しなければならない。

- ① 利用を希望する日時及び施設
- ② 関与する本学教職員・学生の氏名及び利用目的である会議及びイベント等との関係
- ③ 飲食の有無
- ④ 参加者の参集範囲
- ⑤ 感染症拡大に伴う中止の判断基準
- ⑥ 参加者に陽性者又は濃厚接触者が発生した場合の対応フロー及び連絡先

(2) 感染拡大防止対策計画書には、次の項目を記載することが望ましい。

- ① 感染防止対策チェックリスト（様式2）に記載のない、独自の感染防止対策
- ② 施設利用当日のタイムスケジュール（概要）

6. 安全対策（感染防止対策）

主催者は、感染拡大防止対策計画書（様式1）及び感染防止対策チェックリスト（様式2）に記載の事項を遵守するとともに、手指消毒、マスク着用、換気、三密回避等の基本的な感染対策を実施しなければならない。

7. 利用中止の検討基準

以下の場合、主催者は直ちに施設利用の中止を検討し、検討の結果中止しない場合は、既に提出しているチェックリストの項目に加え、追加の感染防止対策についても検討すること。

なお、主催者の決定に関わらず、大学側が施設利用の中止又は具体的な感染防止対策の追加実施につき決定する場合がある。

- (1) 本学三輪キャンパスにおいてクラスターが発生した場合（陽性者が同一集団で10人以上発生、または5人以上の集団感染複数発生等）。
- (2) 国・長野県が行動制限を発出している場合。
- (3) 長野圏域が、緊急事態宣言対象地域及びまん延防止等重点措置の実施区域となった場合。
- (4) 感染防止対策チェックリスト（様式2）記載の感染防止対策が取られていないことが確認された場合。
- (5) 感染拡大防止対策計画書に記載された感染症拡大に伴う中止判断基準に該当する場合。

8. 陽性者の発生に係る報告

参加者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が判明し、当該陽性者が施設利用後2日以内に発症していた場合は、直ちに本学に報告しなければならない。

感染拡大防止対策計画書

令和 年 月 日

長野県立大学事務局長 様

(申請人)

住所:

団体名:

氏名:

貴学施設の利用にあたり、以下のとおり感染拡大防止対策を実施します。

記

※ 項目9, 10以外は必須記載項目

1	日時	令和 年 月 日 () 時間:
2	利用施設	
3	関与する本学教職員・学生の氏名	
4	会議・イベント等と本学教職員・学生の関係	
5	飲食の有無	<input type="checkbox"/> 飲食あり <input type="checkbox"/> 飲食なし
6	参加者の参集範囲	(具体的人数が確定している場合は記載してください。) 学内者 名 (うち学生) 名 学外者 名
7	感染症拡大に伴う中止判断基準	(別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
8	参加者に陽性者又は濃厚接触者が発生した場合の対応フロー及び連絡先	(別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
9	様式1以外の独自の感染防止対策	(別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
10	施設利用当日のタイムスケジュール(概要)	(別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)

感染拡大防止対策計画書

令和 年 月 日

長野県立大学事務局長 様

(申請人)

住所: ○○県○○市1000-2

団体名: ○○○○

氏名: ○○ ○○

貴学施設の利用にあたり、以下のとおり感染拡大防止対策を実施します。

記

※ 項目9, 10は任意、それ以外は必須項目

1	日時	令和4年10月8日 (土) 時間:8時から17時
2	利用施設	A31、F31、F33
3	関与する本学教職員・学生の氏名	○○学部 教員 ○○ ○○
4	会議・イベント等と本学教職員・学生の関係	○○教員が第○回学術大会実行委員会の委員を務めている
5	飲食の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 飲食あり <input type="checkbox"/> 飲食なし
6	参加者の参集範囲	所属する会員(30名程度) (具体的人数が確定している場合は記載してください。) 学内者 2名 (うち学生) 名 学外者 28名
7	感染症拡大に伴う中止判断基準	別添のとおり (別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
8	参加者に陽性者又は濃厚接触者が発生した場合の対応フロー及び連絡先	別添のとおり (別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
9	様式1以外の独自の感染防止対策	別添のとおり (別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)
10	施設利用当日のタイムスケジュール(概要)	別添のとおり (別に定めている場合は、該当資料を添付してください。)

【事務局による確認】

課長補佐兼 総務係長	事務担当者

感染防止対策チェックリスト

団体名	
氏名	

	チェック欄	確認項目
直前 確認 事項	中止の判断（一つでもチェック欄に☑が入った場合は、中止とする。）	
	<input type="checkbox"/>	本学三輪キャンパスにおいてクラスターが発生した場合（陽性者が同一集団で10人以上発生、または5人以上の集団感染複数発生等）
	<input type="checkbox"/>	国・長野県が行動制限を発出している場合
	<input type="checkbox"/>	長野圏域が、緊急事態宣言対象地域及びまん延防止等重点措置の実施区域となった場合
	<input type="checkbox"/>	本様式記載の感染防止対策が取られていないことが確認された場合
	<input type="checkbox"/>	別紙1に記載された「感染症拡大に伴う中止判断基準」に該当した場合
基本 的な 感 染 対 策	基本的な感染防止行動	
	1 飛沫感染対策	
	<input type="checkbox"/>	マスクの正しい着用。（飛沫を拡散させないため） マスクは毎日（毎回）新しいものにかえる。（使用済みマスクはビニール袋に入れて捨てる）
	<input type="checkbox"/>	身体的距離の確保。（飛沫が到達しないため）
	<input type="checkbox"/>	濃厚接触者は特定の数人に限定する。（ウイルスを広げないため） （グループワークがある場合は、メンバーを固定することが望ましい）
	<input type="checkbox"/>	常時換気（飛沫を停留させないため／常時換気が難しい場合は1時間に2回以上、1回に5分以上の換気を実施）
	<input type="checkbox"/>	密集・密接・密閉の回避する行動をとる。
	2 接触感染対策	
	<input type="checkbox"/>	頻回に手洗いする。（手についたウイルスを除去するため） 「食事前、排泄後、会場に着いたとき、帰宅時、鼻をかんだ後、マスクを外したときなど」は、石鹸と流水で30秒かけてしっかりと洗う。
	<input type="checkbox"/>	こまめに手指消毒を行う。（基本は手洗い）（参加者に手指消毒液の携帯を促す。）
	<input type="checkbox"/>	施設内で使用する手指消毒用アルコール液、除菌シートは主催者が準備する。
	<input type="checkbox"/>	施設利用後は、除菌シートによるふき取り消毒を実施する。
	<input type="checkbox"/>	可能な限り個人持ちの物品を使用する。
	<input type="checkbox"/>	活動中の共有物の消毒実施。
	3 飲食時の感染対策（※飲食を伴う場合のみチェック）	
	<input type="checkbox"/>	食事の前後は手洗い、手指消毒を行う。
	<input type="checkbox"/>	人と人との距離を1m以上開ける、座席を対面にならないように配置する。
	<input type="checkbox"/>	飲食時は、黙食。（食べることで、話すことを分ける マスクを取った状態での会話はしない）
	<input type="checkbox"/>	回し飲みや食品の共有等をしない。
	4 自動車（自家用車・公用車）の乗合、公共交通機関利用時の感染対策	
	<input type="checkbox"/>	現地集合・現地解散を基本とする。
	<input type="checkbox"/>	やむを得ず自動車の乗合をする場合は、感染対策の取れる適切な人数を考慮し、移動時間をできるだけ短くする。 移動中は常時窓開け換気とエアコンによる外気導入換気を行い、マスクを着用して会話を控え目にする。
	<input type="checkbox"/>	公共交通機関を利用する場合は、可能な限り込み合う時間帯を避け、マスクを着用して会話を控え目にする。
	5 活動前・活動中・活動後の健康管理・行動管理の徹底	
	<input type="checkbox"/>	ウイルスを「持ち込まない」ために事前の健康管理・行動管理の徹底を遵守する。
	<input type="checkbox"/>	ウイルスを「うつさない・もらわない」ために活動中も健康管理・行動管理を継続する。
	<input type="checkbox"/>	当日体調不良となった参加者がいた場合は、「受診・相談センター（長野市保健所）」に連絡する。
	<input type="checkbox"/>	ウイルスを「広げない」ために活動後も一定期間の健康管理・行動管理を継続する。
	<input type="checkbox"/>	※ 活動参加後、自身が陽性であると判明したときは、速やかに主催者に連絡するよう案内する。
	6 セミナー等での講演者の感染対策の徹底	
	<input type="checkbox"/>	講演者への事前事後の体調管理を要請し、当日は発熱等の風邪症状がみられないか確認をする。
	<input type="checkbox"/>	講演者と参加者の対人距離を確保する。（1m以上、可能なら2m）
	<input type="checkbox"/>	講演者に対する感染対策（マスク着用等）を徹底する。
	7 活動許可に係る事項の確認	
	<input type="checkbox"/>	1～6の基本的感染防止対策が全てチェック済である。
	<input type="checkbox"/>	発熱等の風邪の症状がみられる参加者はいない。
<input type="checkbox"/>	当日の参加者名簿（氏名・連絡先等）を作成し、感染者が出た場合には参加者に連絡できる体制をとる。 （感染者が出た場合に追跡を可能とするため。）	
<input type="checkbox"/>	施設利用当日及び利用後に感染者（陽性者及び濃厚接触者）が判明した場合、直ちに本学に報告する体制が確立されている。	